

令和2年(2020年)7月30日(木曜日)



パソコンを通してマスクの寄贈をネパールに伝える関係者
=三島市

マスク6500枚ネパールへ

GW三島オンラインで贈呈式

衛生環境の整備などネパールで支援活動を続けている三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は8月中をめどに、全国から寄せられた布マスクなど約6500枚とフエースシールドなどの支援物資を現地に送る。29日にオンライン会議システム「Zoom(ズーム)」で三島とネパールをつなぎ、贈呈式が開かれた。現地はネパール日本友好協会によると、同国の新型コロナウイルス

ルス感染者数は約5万人。26日にロックダウン(都市封鎖)が解除され、今後は感染がさらに拡大する可能性もあるという。コロナ禍で徐々にマスクを着用する習慣も広がり、贈呈式では関係者が「マスクは手に入りにくく、寄付はすごく助かる」と感謝した。

GW三島は今後、ネパールへの帰国者などに引き渡して現地の子供らに届ける予定。渡辺豊博専務理事は「まずは命を守ってもらうことが第一。日本全国から集まった善意は必ず送る」と約束した。